

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 32, No. 1 神奈川県立生命の星・地球博物館 Mar. 2026



## ゴミアシナガサシガメの成虫

写真: KPM-NK 103785\*  
神奈川県南足柄市産

わたなべ きょうへい  
渡辺 恭平(学芸員)

※当館電子台帳上の資料番号はゼロを付加した7桁の数字で表記されます

体長2 cmほどのカメムシの仲間で、長い脚をもち、脚や触角に長い毛が生えています。鎌のようになった前脚で、クモを捕まえて吸血します。古い木造家屋の室内や床下に生息し、木造建造物が多かった時代には普通に見られたそうですが、建物の近代化に伴いほとんど見られなくなり、和名のゴミとは真逆の、愛好家垂涎の幻の昆虫となっています。一昨年、神奈川県では84年ぶりに本種が再発見されました。観察会で木造家屋の付近を歩いた時に、参加者の皆さんに本種の話をしたところ、後日その

中のお一人が偶然にも本種を発見し、ご連絡いただいたことが、再発見のきっかけでした。まさか神奈川県に本種が生き残っているとは露とも知らずに、連絡を受けた時の私の驚きと興奮たるや、文字では表現できないほどです。

本種の記録は日本昆虫学会の「昆虫(ニューシリーズ)」28巻4号に発表しました。インターネットで閲覧できますので、ご興味のある方はご覧ください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kontyu/28/4/\\_contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kontyu/28/4/_contents/-char/ja)